

Improving Male Menopausal Symptom by 5-Aminolevulinic Acid (5-ALA)

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2019-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 子安, 洋輝 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002324

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2102 号

Improving Male Menopausal Symptom by 5-Aminolevulinic Acid (5-ALA)

(5-アミノレブリン酸含有食品摂取における男性更年期障害に対する改善効果の検討)

子安 洋輝 (こやす ひろき)

博士 (医学)

論文内容の要旨

5-アミノレブリン酸とは生物に広く存在する天然アミノ酸である。ミトコンドリア内に存在し生体のエネルギー産生や代謝などに関与している。様々な金属と結合し生体内で重要な役割を果たすものが多く、鉄と結合すればヘム、コバルトと結合すればビタミン B12、また植物においてはマグネシウムと結合すればクロロフィルとなる。今回我々は 5-アミノレブリン酸含有食品摂取による男性の更年期症状改善効果の検討を行った。また副次的な項目として筋肉量や体脂肪率、Body mass index の変化についても検討を行った。更年期症状を有する日本人男性であり、35 歳以上 75 歳未満、Aging male' s symptoms スコアが軽症～中等症、血清総テストステロン 4.0ng/ml 以上を満たす人を対象とした。方法としては試験食品をランダムに配布し 5-アミノレブリン酸含有食品摂取群、プラセボ群の 2 群に振り分け試験食品を 8 週間連続摂取し検討した。観察時期は試験食品摂取前、摂取 4 週間後、摂取 8 週間後の計 3 回とし、各時期において血液検査、尿検査、問診票、筋肉量測定を行い評価した。有効性評価項目は Aging male' s symptoms スコア、血清総テストステロン値、筋肉量、Body mass index、体脂肪率で行った。結果としては 5-アミノレブリン酸含有食品摂取群において Aging male' s symptoms スコアは摂取前と摂取 8 週間後の比較において有意差を認めた。両群の群間比較においては摂取 8 週間後に Aging male' s symptoms スコアに有意差を認めた。本研究結果から 5-アミノレブリン酸含有食品を摂取することにより男性更年期障害における症状を改善させる可能性が示唆された。